

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)												
事業実施地区名 (都道府県名)	よねしろがわ 米代川森林計画区 (秋田県)	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署上小阿仁支署												
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、秋田県北中心部に位置する米代川森林計画区内の国有林野 63,461haである。</p> <p>当計画区は東側に森吉山、大仏岳等の1,000m以上の山々、西側に八羽山、姫ヶ岳と800m～500m以下の山々で構成されており、計画区中央を南から北に阿仁川が貫流し、小阿仁川、小又川等の諸支流を集め米代川と合流し日本海に注いでいる。</p> <p>林況は、林地面積の60%がブナ類を主とする広葉樹天然林、40%が主にスギなどの人工林となっている。</p> <p>当計画区内は優れた自然環境を有する地域であり、貴重な森林の連続性の確保、森林生態系の保護・保全を図るため、「森吉山県立自然公園」、「大平山自然公園」に設定されているとともに「八幡平大平山緑の回廊」、「森吉山クマガラ特定動物生息地保護林」、「森吉山風景林」等多様な保存林や教育林等に指定されている。</p> <p>これらの地域は、登山、湖沼・溪谷散策のほか伝統文化施設、スキー場等の観光施設が整っており、北秋田市や能代市等の都市部からの森林を利用したレクリエーション、森林教育や保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、当地域は歴史ある林業地域で、豊かな森林資源を利用して木材加工業が発達しているとともに、キノコや山菜を利用した林産物加工業が観光地を生かした地域の重要な産業となっている。</p> <p>これらの地域に所在する森林は、全国ブランドである秋田杉の生産地区であり、国有林においても秋田杉の供給を通じた産業と地域振興が期待できること及び、自然のダムと炭素貯蔵の役割をしており、適切な森林整備とこれらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減に貢献し低炭素社会の構築に寄与するとともに木材生産と公益的機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては、地域の要請に応えるとともに森林の有する機能発揮、低炭素化社会、地元優良国産材の需給率向上に向け、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な整備、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">257ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">5,908ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">24.3km</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">総事業費 1,757,601千円</p>			主な事業内容	森林整備	更新面積	257ha			保育面積	5,908ha		路網整備	開設延長	24.3km
主な事業内容	森林整備	更新面積	257ha												
		保育面積	5,908ha												
	路網整備	開設延長	24.3km												
費用対効果分析	総便益(B)	18,938,239千円													
	総費用(C)	2,151,578千円													
	分析結果(B/C)	8.80													
事業評価技術検討会の意見	<p>森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。</p>														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 低炭素社会の構築や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮、特産材の秋田杉を通じた産業寄与、国有林内レクリエーション施設を通じた振興、木材の安定供給等地域の要請に応えるため本事業の実施が必要である。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。 <p style="margin-top: 10px;">新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

様式1

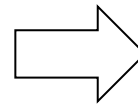
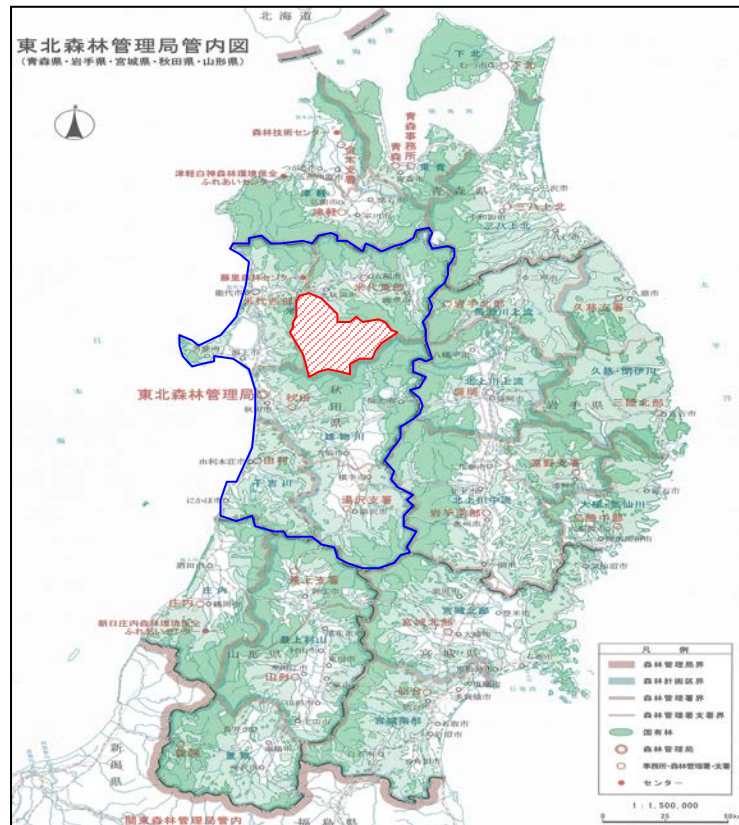
便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林整備
施行箇所：米代川森林計画区

都道府県名：秋田
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	3,744,026	
	流域貯水便益	1,664,271	
	水質浄化便益	3,523,004	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,391,413	
環境保全便益	炭素固定便益	1,937,289	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	130,896	
	木材利用増進便益	58,404	
	木材生産確保・増進便益	1,516,695	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	5,068	
	森林整備促進便益	967,173	
総 便 益 (B)		18,938,239	
総 費 用 (C)		2,151,578	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{18,938,239}{2,151,578} = 8.80$		

森林環境保全整備事業 米代川森林計画区(秋田県) 事業概要図



対象計画区拡大図

